

2021. 10. 12

プレスリリース

「内外の化繊工業の動向」

2021年 上半期

平素より格別のお引き立てをいただき厚く御礼申し上げます。
このたび、当会では、標記の報告書をまとめましたので、その「概要」をお届けします。
ご高覧下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本化学繊維協会

(お問合せ先 業務調査グループ TEL 03-3241-2313)

概 要 (2021 年上半期)

2021 年上半期（1～6 月）は、前年からの長引く新型コロナウイルスの影響、断続的な緊急事態宣言の発出等による経済活動の停滞により、設備投資、消費など主要指標の落ち込みが続いた。しかしながら、第 2 四半期以降は欧米先進国では、ワクチン普及にともない防疫措置の緩和が進み経済活動が再開、海外経済の回復を背景とした輸出の増加が景気を下支えし、日本経済は回復の兆しをみせている。

こうした中、繊維需要は、末端の衣料需要は前年の大きな落ち込みからは回復途上にあるものの盛り上がりは欠いている。自動車生産は 2020 年年央以降回復傾向であるが、21 年になると、部品不足等で先行き不透明感が顕在化、住宅着工や公共工事受注なども回復途上にあり、自動車関連の繊維需要、産業資材関連など非衣料分野は需要回復が鈍いままである。また、原材料価格の高騰も化繊業界の回復ペースを鈍らせる要因の一つとなっている。

国 内

- 1) 衣料用：2021 年上半期の百貨店/量販店の衣料品売り上げは、第 1 四半期は新型コロナウイルスの影響により大幅な前年実績割れとなった。第 2 四半期は、前年の緊急事態宣言に伴う休業措置による過去にない大きな落ち込みの反動から前年実績は上回ったものの、絶対額では不振が続いている。そのため、持ち帰りを含めた国内の衣料用の繊維需要は総じて不振となった。
家庭・インテリア用：新規住宅着工件数は 21 年 3 月以降プラス成長に持ち直したものの、インテリア需要は依然として低調が続いた。一方で、除菌シート向け等の家庭用、生活資材用途、医療衛材用途などの需要は前年に続き堅調。
産業資材用：自動車生産は、2020 年中盤からの生産回復で自動車関連の繊維需要は比較的堅調に推移した。土木資材用、建築資材用は前年の落ち込みからは回復傾向にある。
- 2) 繊維工業の生産活動は、2020 年第 2 四半期に新型コロナウイルスの影響により大きく下落したが、2021 年に入ると一進一退を繰り返しながら回復傾向にある。2021 年第 2 四半期の生産指数は、繊維工業全体では 79.7 と前年同期（80.8）に比べ、1.1 ポイント下落した。そのうち、化学繊維を含む繊維は 81.4 と前年同期（78.6）に比べ 3.8 ポイント上昇した。

繊維需要関連の各種指標

(前年比増減：%)

	百貨店 衣料品売上	量販店 衣料品売上	自動車 生産	新規住 宅着工	建築 受注
2017	-2.2	-2.3	5.3	-0.3	-3.1
2018	-3.1	-5.3	0.4	-2.3	0.1
2019	-4.0	-7.1	0.5	-4.0	2.2
2020	-31.1	-16.9	-16.7	-9.9	-7.0
2021 1～3月	-14.8	-8.4	-4.2	3.3* (1～6月)	10.5
2021 4～6月	49.2	12.2	55.6		16.8

繊維工業の段階別生産指数

(2015=100)

	繊維工業 全体	繊維	織物	染色整理	繊維製品 粗製品
2020年 第1四半期	89.3	87.2	92.6	94.9	86.2
2020年 第2四半期	80.8	78.6	83.7	88.2	80.1
2020年 第3四半期	75.3	70.9	69.6	78.2	82.5
2020年 第4四半期	76.1	72.5	74.6	82.9	78.1
2021年 第1四半期	80.4	78.5	80.1	86.2	79.8
2021年 第2四半期	79.7	81.4	80.7	86.7	75.3

3) 繊維品輸出は、ドルベースで38.0億ドル・前年同期比(以下同じ)7.3%増、一方、円ベースで4,102億円・6.9%増。

形態別(円ベース)では、繊維原料463億円・5.5%減、糸類535億円・14.8%増、織物1,023億円・4.0%減、二次製品他2,081億円・14.5%増。

仕向地別(円ベース)では、全体の28%のシェアを占める中国が8.0%増の1,130億円。韓国(12.8%増)、台湾(8.7%減)、香港(20.9%減)となった。アセアン地域は、ベトナム(3.5%増)、タイ(29.1%増)が増加し、インドネシア(4.2%減)が減少、全体で3.2%増の991億円、シェアは24%となった。米州は19.8%増、欧州は9.5%増となり、主要仕向地は、前年の新型コロナウイルスによる大幅減から一定程度回復を示している。

4) 繊維品輸入は、ドルベースで 170.1 億ドル・前年同期比（以下同じ）7.6%減、一方円ベースは 1 兆 8,298 億円・8.1%減。

形態別（円ベース）では、繊維原料 292 億円・2.0%減、糸類 512 億円・1.1%増、織物 577 億円・9.6%減、二次製品他 1 兆 6,918 億円・8.4%減。二次製品では、衣類は全体で 4.1%増と回復がみられるが、前年に急増したマスク、防護服等を含むその他二次製品の輸入は一転減少に転じたことが響いた（当該コードの輸入は前年比 64.3%減の 1,255 億円）。

仕出地別では、全体の 54%を占める中国が 15.9%減の 9,880 億円、前年に急増したマスク、防護服等の新型コロナ対応物資の輸入が一転大幅減となった。中国の輸入シェアは前年同期より 5 ポイント下落した。韓国（5.5%増）、台湾（1.6%増）となった。アセアン地域は、ベトナム（5.7%減）、インドネシア（7.5%減）が減少したが、タイ（4.6%増）が増加、全体で 2.2%増、シェアは前年同期から 3 ポイント上昇の 30%となった。欧州からは、前年に国内衣料需要の収縮から大幅減となったイタリア（7.8%増）、フランス（7.5%減）が回復を示している。

繊維品輸出・輸入実績

項目	単位	2020年	2020年 1～6月	2021年 1～6月	前年比 (%)
輸出	千ドル	7,065,909	3,543,463	3,802,111	7.3
計	百万円	754,486	383,790	410,207	6.9
繊維原料	百万円	89,582	48,971	46,283	-5.5
糸類	百万円	90,629	46,618	53,531	14.8
織物類	百万円	206,409	106,524	102,298	-4.0
二次製品他	百万円	367,866	181,678	208,096	14.5
輸入	千ドル	37,683,833	18,407,270	17,006,280	-7.6
計	百万円	4,021,470	1,990,489	1,829,845	-8.1
繊維原料	百万円	52,524	29,794	29,208	-2.0
糸類	百万円	86,543	50,626	51,178	1.1
織物類	百万円	115,044	63,801	57,654	-9.6
二次製品他	百万円	3,767,360	1,846,267	1,691,805	-8.4
（うち衣類）	百万円	(2,723,339)	(1,263,982)	(1,315,739)	4.1
輸出レート	円/ドル	106.8	108.3	107.9	-0.4
輸入レート	円/ドル	106.7	108.1	107.6	-0.5

（出所）財務省

5) 2021 年上半期の化繊生産は前年同期比 1.4%減の 37.3 万トンと続落した。うちセルロース繊維は同 12.9%減の 7.8 万トン、合繊は同 2.2%増の 29.4 万トンであった。

合繊生産を品種別にみると、ナイロン F は同 1.3%増の 3.4 万トン、ポリエステル F は同 4.6%減の 4.8 万トン、同 S は同 0.7%減の 3.9 万トン、アクリル S は同 16.5%増の 4.8 万トンとなった。

6 月末在庫は前年同期比 18.5%減の 8.7 万トンとなった。うちセルロース繊維は同 8.4%減の 2.5 万トン、合繊は同 22.1%減の 6.1 万トンとなった。

化繊輸出（繊維原料～二次製品）は前年同期比 0.2%増の 23.4 万トンとなった。

形態別は、繊維原料は同 10.5%減の 8.5 万トン、糸類は同 19.5%増の 5.1 万トン、織物類（面積ベース）は同 4.9%増の 2.47 億㎡、二次製品は同 6.6%減の 6.0 万トンであった。

品種別は、セルロース S は前年同期比 76.8%の大幅減、ナイロン F は同 39.8%増、ポリエステル F は同 14.7%増、ポリエステル S は同 6.1%減、アクリル S は同 14.7%増となった。化繊不織布は同 23.0%増の 3.1 万トンとなった。

化繊輸入（繊維原料～二次製品）は前年同期比 5.0%増の 72.1 万トン。

形態別は、繊維原料は同 11.7%増の 5.1 万トン、糸類は同 8.4%増の 10.1 万トン、織物類（面積ベース）は同 9.3%減の 2.74 億㎡、二次製品は同 4.3%増の 51.0 万トン、そのうち衣類は同 4.0%増の 19.2 万トンとなった。

品種別は、セルロース S は同 6.6%増、ナイロン F は同 6.2%増、ポリエステル F は同 13.2%増、同 S は同 15.1%増となった。化繊不織布は同 3.9%増の 12.7 万トンとなった。

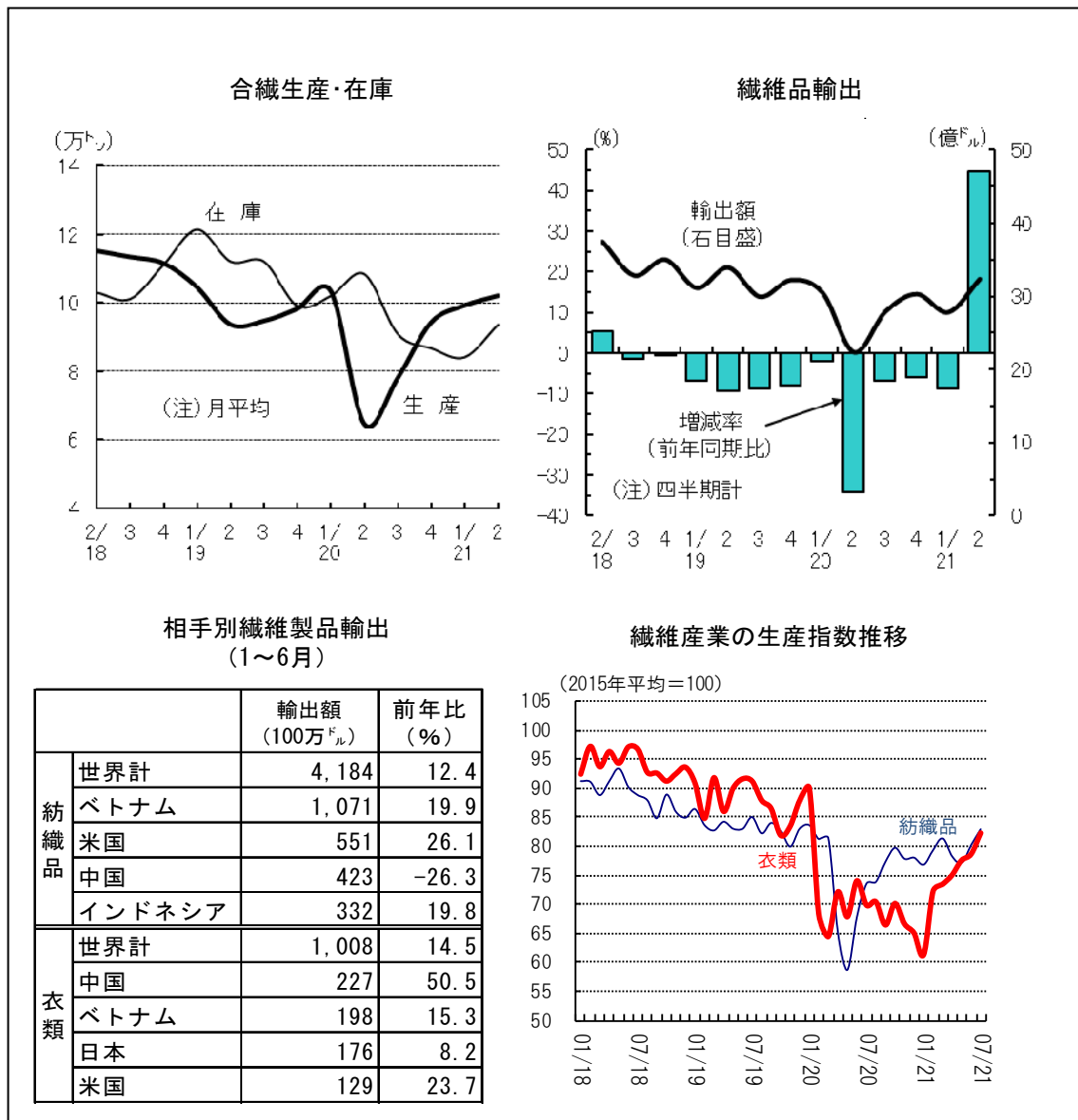
化学繊維の主要指標

項目	単位	2020年	2020年 1～6月	2021年 1～6月	前年比(%)
化繊生産	トン	705,363	377,657	372,512	-1.4
セルロース	〃	160,162	89,606	78,070	-12.9
合 織	〃	545,201	288,051	294,442	2.2
期末化繊在庫	〃	83,309	106,298	86,628	-18.5
セルロース	〃	21,895	27,678	25,353	-8.4
合 織	〃	61,414	78,620	61,275	-22.1
化繊輸出	トン	446,662	233,651	234,183	0.2
	1000 ^F ドル	4,172,974	2,097,934	2,263,709	7.9
	百万円	445,552	227,226	244,198	7.5
繊維原料	トン	173,932	95,177	85,204	-10.5
糸 類	〃	83,043	43,086	51,496	19.5
織物類	百万㎡	464,252	235,778	247,347	4.9
二次製品	トン	113,703	56,041	59,750	6.6
化繊輸入	トン	1,514,218	686,016	720,620	5.0
	1000 ^F ドル	15,719,503	6,840,825	6,825,966	-0.2
	百万円	1,675,663	740,393	734,114	-0.8
繊維原料	トン	93,522	45,428	50,733	11.7
糸 類	〃	167,661	93,437	101,298	8.4
織物類	百万㎡	532,101	302,608	274,430	-9.3
二次製品他	トン	1,142,898	489,111	510,386	4.3
(うち衣類)	〃	492,917	184,212	191,668	4.0

(出所) 経済産業省、財務省

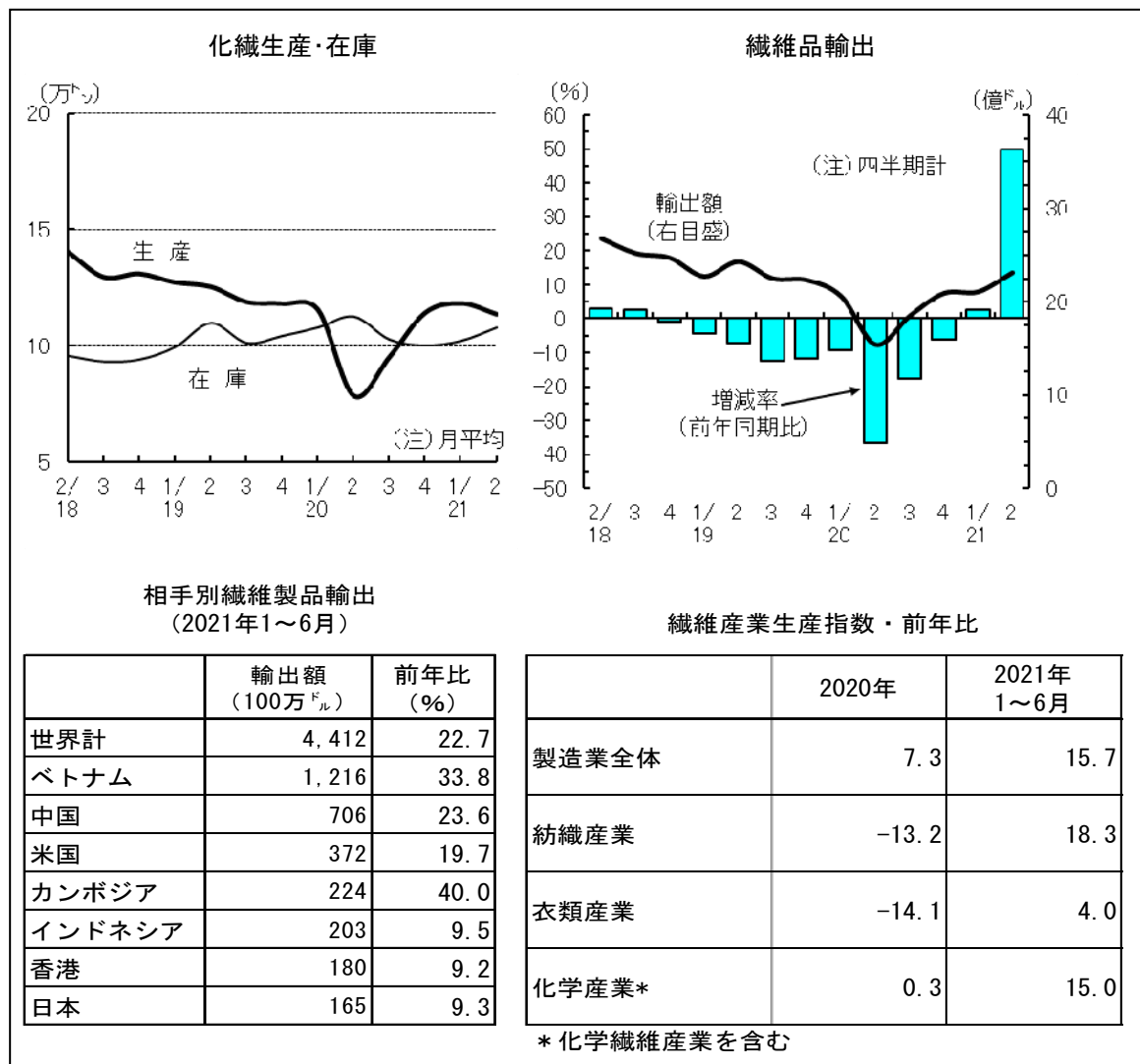
(注) 1. 在庫は生産者在庫で各期末 2. 化繊輸出入の計には化繊くずを含む

(6) 韓国



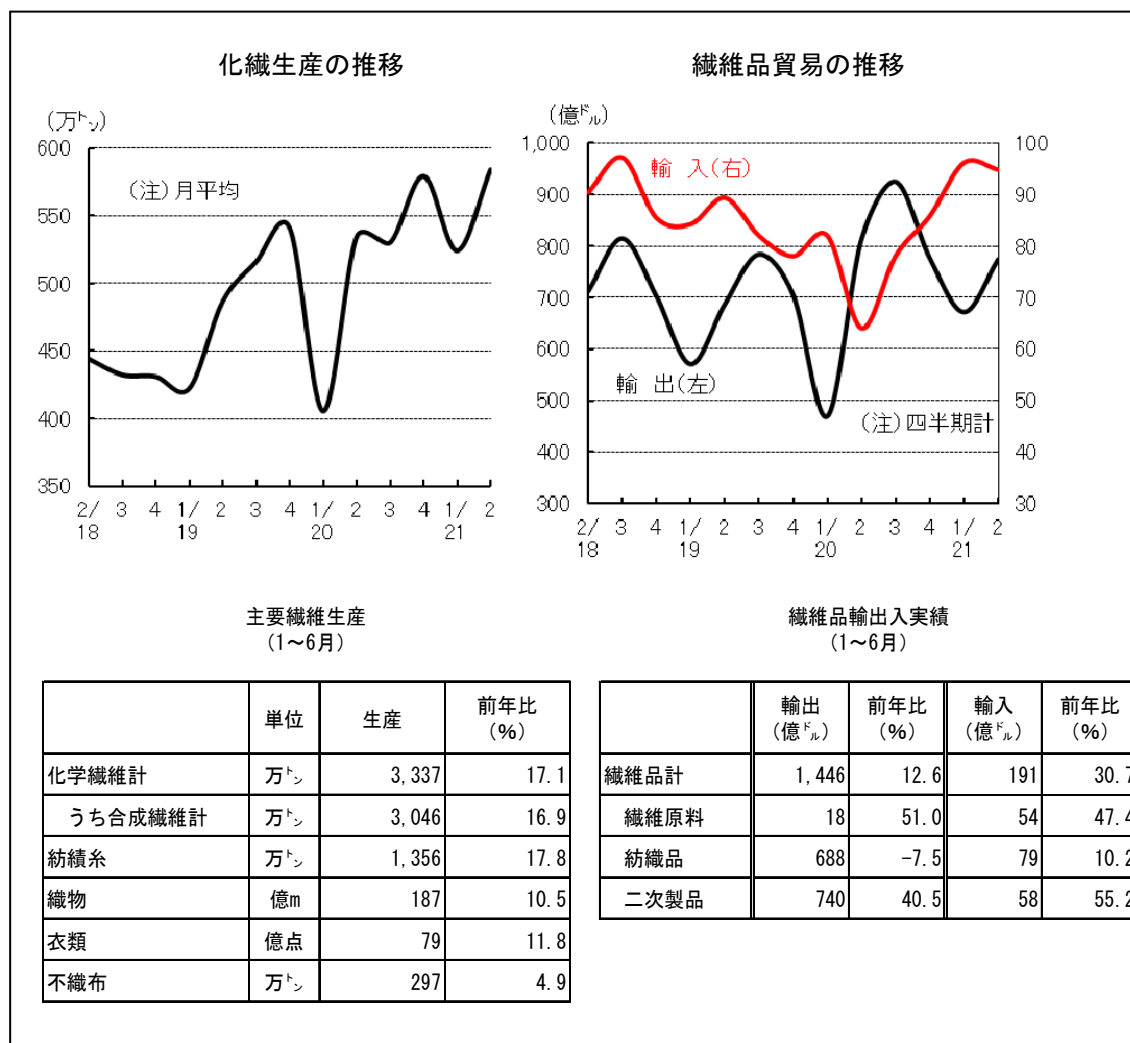
- ◆2021 年上半期の化繊生産、繊維品輸出とも、前年の新型コロナウイルスパンデミックの反動から大幅増となった。
- ◆2021 年上半期(1-6 月)の合繊生産は前年同期比 19.7%増の 60.4 万トンとなった。四半期ベースでは、1-3 月が同 4.1%減と減産が続いていたが、4-6 月は同 57.9%増と急回復した。上半期の主要合繊の生産は、ナイロンFは同 52.9%増、ポリエステルFは同 21.9%増、ポリエステルSは同 17.2%増といずれも 2 桁増、一方でアクリルSは同 7.0%減となった。
- ◆2021 年上半期の繊維品輸出は前年同期比 13.9%増の 60.2 億ドル、第 2 四半期に急回復となった。1~6 月の繊維製品輸出を相手別にみると、紡織品はベトナム向け、米国向けは大幅増となる一方、中国向けは大幅に減少した。

(7) 台湾



- ◆2021 年上半期の化繊生産、繊維品輸出とも、前年の新型コロナウイルスの影響の反動から、特に第2四半期に大きく回復を示している。
- ◆2021 年上半期の化繊生産は前年同期比 19.6%増の 69.7 万トとなった。四半期ベースでは第1四半期は同 2.4%増に対して第2四半期は同 50.0%増と急回復した。上半期の主要合繊の生産は、ナイロン F は同 8.2%増、ポリエステル F は同 32.2%増、ポリエステル S は同 8.5%増となった。
- ◆2021 年上半期の繊維品輸出は前年同期比 22.8%増の 44.2 億ドルとなった。繊維品輸出を相手別にみると、最大のベトナム向けは同 33.8%増、中国向けは 23.6%増、米国向けは同 19.7%増といずれも急回復を示した。
- ◆2021 年上半期の主要繊維産業の生産指数は、紡織産業、衣類産業とも前年の 2 桁の大幅なマイナスからプラスに転じている。

(8) 中国



- ◆2021年上半期は、前年同期の新型コロナウイルスの影響による大幅減から、生産、消費、輸出とも顕著な回復傾向を示している。
- ◆2021年上半期の繊維産業は拡大傾向となった。繊維業界の工業増加値（GDPに相当）の伸び率は9.6%となった。2019年の同期比では1.1%下回っており、依然として回復段階にある。とくに、化繊、アパレルは2019年同期を下回っている。
- ◆2021年上半期の化繊生産は前年同期比17.1%増の3,337万トﾝ、うち合繊は同16.9%増の3,046万トﾝ、紡績糸生産は同17.8%増の1,356万トﾝ、織物生産は同11.8%増の187億m、衣類生産は同10.5%増の79億点といずれも2桁増となった。不織布生産は同4.9%増の297万トﾝ、防疫物資の輸出が落ち着き増加率は鈍化した。
- ◆2021年上半期の繊維品輸出は前年同期比12.6%増の1,446億ドル、うち、繊維原料は同51.0%増の18億ドル、紡織品は同7.5%減の688億ドル、衣類等二次製品は同40.5%増の740億ドルとなった。紡織品は、前年の防疫関連物資の輸出急増の反動で減少した一方、二次製品は主要先進国の需要回復から大幅増となった。繊維品輸入は同30.7%増の191億ドルとなった。

繊維業界の主要指標
(1~6月)

	単位	指標	前年比 (%)
紡織産業売上額	億元	11,708	18.9
衣類産業売上額	億元	6,534	13.0
化繊産業売上額	億元	4,760	35.0
紡織産業利益額	億元	446	2.3
衣類産業利益額	億元	274	13.9
化繊産業利益額	億元	327	387.5
紡織産業実際投資	前年比	-	15.2
衣類産業実際投資	前年比	-	5.8
化繊産業実際投資	前年比	-	16.6

社会小売財消費総額（限度額以上）
(1~6月)

	単位	数値	前年比 (%)
商品売上総額	億元	78,939	26.4
うち服装類	億元	4,875	37.4

繊維関連物消費者物価指数
(1~6月)

	前年同期比 (%)
消費者価格指数・全製品	0.5
消費者価格指数・衣類等	0.0

- ◆繊維産業の主要経営指標は、紡織産業、衣類産業、化繊産業の売上はそれぞれ前年同期比 18.9%増、13.0%増、35.0%増と、前年の新型コロナウイルスの影響による経済活動停滞による大幅減から、2桁増へと急回復した。利益額は、紡織産業、衣類産業、化繊産業それぞれ、2.3%増、13.9%増、387.5%増ととりわけ化繊産業の収益が回復している。繊維産業の投資は各段階とも回復した。投資は新型コロナウイルス前の水準まで回復している。
- ◆社会小売材の消費総額（服装類）は前年同期比 37.4%増と顕著な回復を示している。衣類等の消費者物価指数は前年同期比横ばいであった。

9) 米 国

・輸 入

2021年の1～7月の繊維製品輸入は3割近く減少した前年の反動から前年同期比29.3%増の603.9億ドルとなった。仕出地別にみると、最大仕出国の中国が28.0%増の155.3億ドルであったほか、ベトナムが17.6%増の87.0億ドル、インドが54.6%増の54.8億ドル、バングラデシュが29.2%増の38.7億ドルと主要仕出国はいずれも2桁増となった。

衣類の輸入も25.3%増の423.7億ドルと大幅に増加。仕出地別では前年同期に49.3%減とほぼ半減した中国が前年同期比24.3%増の91.4億ドル回復したものの、一昨年水準には届かなかった。ベトナムが11.1%減の69.4億ドル、バングラデシュが18.5%減の29.1億ドル、インドが33.3%減の17.5億ドルなど、いずれも大幅に減少した。

繊維製品輸入実績（1～7月）

(100万ドル)

繊維製品計				うち衣類			
仕出地	2020年	2021年	前年比(%)	仕出地	2020年	2021年	前年比(%)
中国	12,133	15,525	28.0	中国	7,348	9,137	24.3
ベトナム	7,396	8,698	17.6	ベトナム	6,932	8,070	16.4
インド	3,547	5,483	54.6	バングラデシュ	2,891	3,701	28.0
バングラデシュ	2,992	3,866	29.2	インド	1,742	2,318	33.1
メキシコ	1,836	2,407	31.1	インドネシア	2,076	2,137	2.9
世界	46,713	60,393	29.3	世界	33,817	42,367	25.3

(出所) 米商務省

・企業動向

- ・ 大手化学メーカーEastman Chemical はテネシー州 Kingsport に世界最大級のプラスチックリサイクル工場を新設すると発表。投資額は約2.5億ドル、2022年末までの稼働開始を目指す。
- ・ PETリサイクルメーカーCarbonLite とその子会社Packaging がチャプター11（米連邦破産法11条）を申請した。同社によると新型コロナウイルスの影響だけでなく、バージン原料価格の下落、ペンシルバニアに新設した工場の開所の遅れなどが影響したとしている。
- ・ American&Efid(A&E)やBurlington,などのブランドを傘下に抱える Elevate Textiles がサステナブルアパレル連合(SAC)に加盟することを明らかにした。SACは持続可能なアパレル産業の構築を目指しており、200以上のメーカー、小売等が参加している。
- ・ 繊維製品の循環モデル構築を目指す民間プロジェクト Accelerating Circularity が使用済み繊維製品をケミカルリサイクルする事業の実証実験を行うと発表。繊維 to 繊維の循環型システムとして、繊維企業のほか、回収、分別、加工業者、リサイクル業者らと共に実施する。

- ・ 不織布メーカーFibertex Nonwovens がサウスカロライナ州 Laurens のスパンレース工場を増設すると発表した。投資額は 4,950 万ドルを超されており、2023 年の工事完了を目指す。
- ・ 複合材料メーカーHexcel Corporation はユタ州に最先端の部品テクノロジー研究開発拠点を設立すると発表、ユタ州知事経済開発室 (GOED) の支援を受けけることを明らかにした。
- ・ 大手ポリエステルメーカーDAK Americas LLC はサウスカロライナ州チャールストン近郊にある Cooper River 工場におけるポリエステル短繊維生産を終了すると発表、同工場の PET 樹脂生産は継続する。同工場は 40 年以上前に建設され、ポリエステル短繊維の生産能力は年産 15 万トン。

10) 欧州

・ 企業動向

- ・ 伊 RadiciGroup がマスクなど個人保護具向けのメルトブロー不織布の新ラインを導入。
- ・ トルコ貿易省は中国、インド、マレーシア産のポリエステル長繊維系に対するアンチダンピング (AD) サンセットレビューについて、今後 5 年間の AD 措置延長を決定。対象は HS コード 5402.47 に該当する品目。(注) AD サンセットレビュー：5 年間の AD 措置執行の可否を判断するための調査。
- ・ オランダ化学メーカーRoyal DSM と国際的な環境技術企業 Clariter が戦略的パートナーシップを締結したと発表。DSM の超高分子量ポリエチレン繊維「Dyneema」が使用された製品をケミカル手法でリサイクルする技術の開発が目的。
- ・ 欧州繊維産業連盟 (EURATEX) は欧州委員会が今年中に公表予定の「EU strategy for sustainable textiles」に対するポジションペーパーを発表。2020 年 3 月に欧州委員会が循環経済 (サーキュラーエコノミー) を加速させるための「Circular Economy Action Plan」を公表した中で、「繊維 (Textile)」が重点 7 分野の一つに取り上げられていた。
- ・ 欧州委員会は使い捨てプラスチック (SUP) 規制ガイドラインで、Lenzing のリヨセルなど木材由来のセルロース繊維が対象外 (非プラスチック) であるとの見方を示した。
- ・ 独 Fraunhofer 研究機構、米 P&G、サウジアラビア大手石油化学公社 SABIC は、使い捨てマスクで使用されるポリプロピレン繊維のケミカルリサイクルでサーキュラーエコノミーを実現する合同プロジェクトを発表。
- ・ ベルギーのリサイクル繊維メーカーProcotex の炭素繊維部門子会社 Apply Carbon は、英リサイクルメーカーELG UK の炭素繊維事業を買収し、仏 Plouay の工場を統合してリサイクル炭素繊維の生産を拡大すると発表した。

合繊4品種需要実績(2021年1～6月)

I. ポリエステルフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2021年1～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	37,867	129.9	101.1
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	71,592	118.3	106.4
	計 (輸入)	109,459 (64,806)	122.1 (139.2)	104.5 (113.2)
輸出 (原糸、加工糸)		2,522	135.4	117.6
需要計		111,981	122.3	104.8
在庫		7,949	98.1	74.2

(注)国内需要の()内数値は輸入量

II. ポリエステルステーブル需要実績

(単位:トン、%)

		2021年1～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	紡績用 (加工品輸出用含む。)	9,017	102.3	104.1
	非紡績用 (加工品輸出用含む。)	62,639	96.9	106.1
	計 (輸入)	67,539 (31,438)	92.0 (93.5)	99.7 (101.8)
輸出 (ステーブル・トウ・トップ)		4,246	136.9	107.3
需要計		71,785	93.8	100.1
在庫		12,460	113.0	81.1

(注)国内需要の()内数値は輸入量

III. ナイロンフィラメント需要実績

(単位:トン、%)

		2021年1～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	7,769	121.7	99.5
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	27,818	127.2	113.5
	計 (輸入)	35,587 (13,611)	126.0 (145.6)	110.1 (106.2)
輸出 (原糸、加工糸)		12,203	121.5	130.3
需要計		47,790	124.8	114.6
在庫		6,728	86.0	44.3

(注)国内需要の()内数値は輸入量

IV. アクリルステーブル需要実績

(単位:トン、%)

		2021年1～6月 実績	対前期比	対前年同期比
国内 需要	衣料用 (加工品輸出用含む。)	14,484	168.3	155.2
	非衣料用 (加工品輸出用含む。)	2,976	134.0	109.9
	計 (輸入)	17,460 (255)	161.2 (69.3)	145.0 (62.0)
輸出 (ステーブル・トウ・トップ)		32,445	93.9	115.1
需要計		49,905	110.0	124.0
在庫		11,066	80.7	75.1

(注)国内需要の()内数値は輸入量